

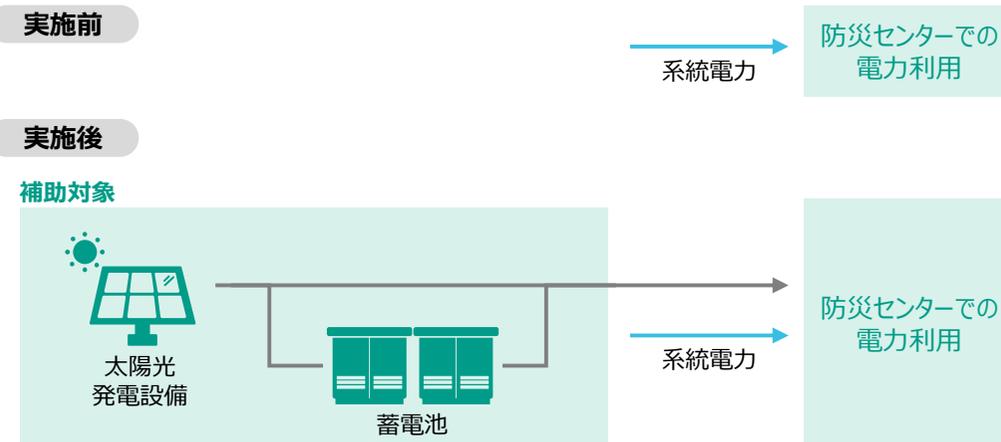
## 1.3 地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業

## ① 防災センターへの太陽光発電と蓄電池の設置による災害時の体制の向上

## 事業概要

事業者概要	事業者名	島根県 美郷町	
	業種	地方公共団体	
事業所	所在地	島根県	
	総延床面積	389m <sup>2</sup>	
補助金額	補助金額	約2億1,800万円	
	補助率	3/4	
主な導入設備	従前設備	なし（新設のため）	
	導入設備	太陽光発電	160.2kW
		蓄電池	547.9kWh
事業期間	稼働日	2021年6月	
区分		新設	
特長		自治体の防災拠点となっている防災センターに太陽光発電と蓄電池を設置し、非常時には3日間外部からの給電なしに稼働できるようになった。また、設置施設は自治体のデータセンターにもなっており、停電時のデータ損失リスクが低減された。	

## システム図



## 写真

太陽光発電と蓄電池



### 1.3 地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業

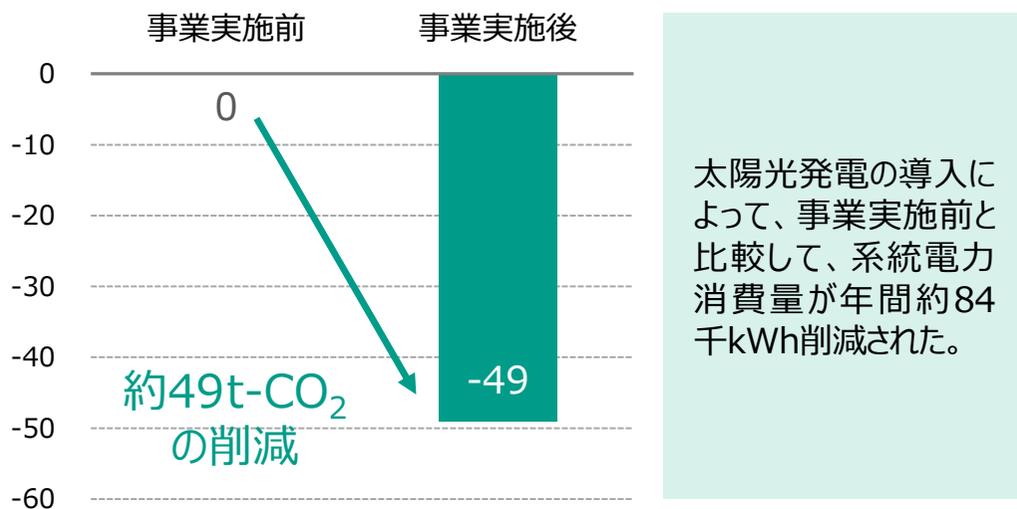
#### ① 防災センターへの太陽光発電と蓄電池の設置による災害時の体制の向上

##### 事業の効果

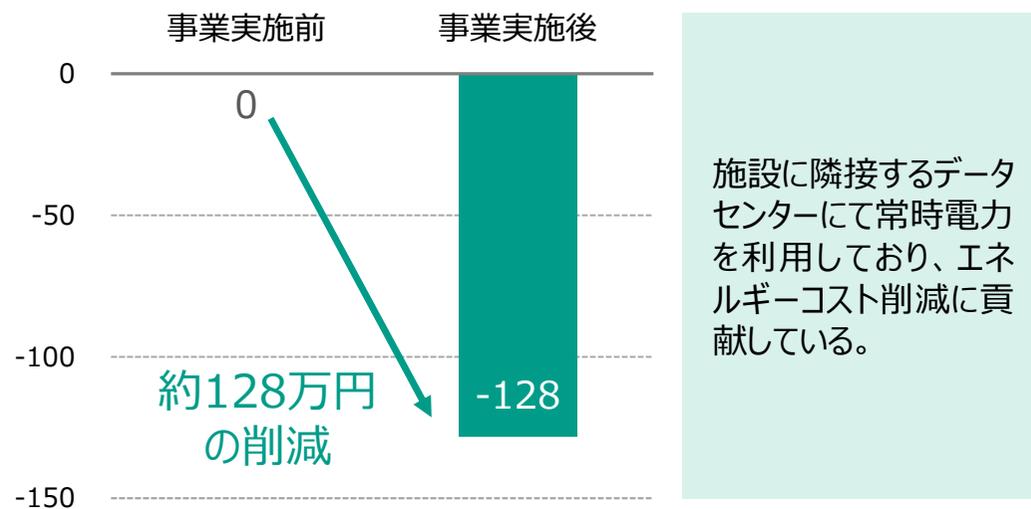
エネルギーコスト削減額	約128万円／年	
投資回収年数	補助あり	-
	補助なし	-

CO <sub>2</sub> 削減量	約49t-CO <sub>2</sub> ／年
CO <sub>2</sub> 削減コスト	263,595円／t-CO <sub>2</sub>

##### CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>／年)



##### エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】  
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：15.2円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

## ① 防災センターへの太陽光発電と蓄電池の設置による災害時の体制の向上

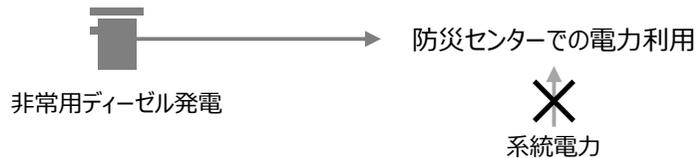
### 事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

#### ■ 「太陽光発電」によって、CO<sub>2</sub>削減以外に、以下のような副次的効果があった。

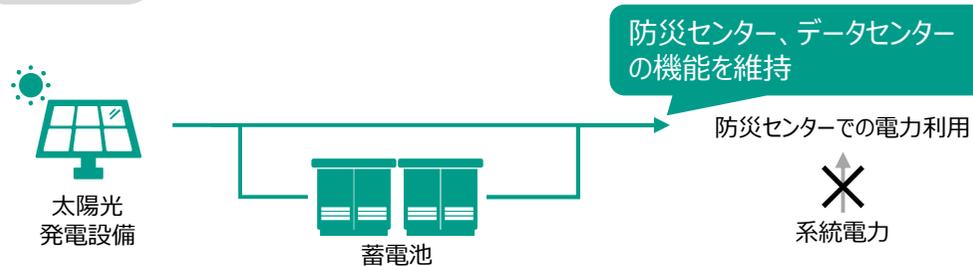
- ・ 災害時に停電した場合、非常電源のディーゼル発電機があったものの長期化した場合に防災拠点となる防災センターが機能しないリスクがあった。また、防災センターにはデータセンターも併設されているため、データ損失のリスクがあった。太陽光発電と蓄電池を設置することで、非常時には最大3日間電力を供給することができるようになった。
- ・ 太陽光発電や蓄電池による電力は、平時には設置した設備で利用できるため、エネルギーコストが削減された。

#### 災害時の体制の向上

**実施前** 停電による機能不全のリスクがあった。



**実施後** 最大で3日間電力を供給することが可能になった。



各施設で電力供給が可能になり、**災害時の体制が向上した。**

#### エネルギーコストの削減

**実施前** 各施設で利用する電力はすべて購入していた。



**実施後** 利用する電力の約60%を太陽光発電により供給が可能になった。



平時でも電力供給することで**エネルギーコストが削減された。**

## 1.3 地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業

### ① 防災センターへの太陽光発電と蓄電池の設置による災害時の体制の向上

#### 事業の経緯／今後の予定



#### 事業者の声



##### 浜田

美郷町 企画推進課

- 非常電源確保と電気代の削減、脱炭素化も含めた取り組みで、この設備導入に併せて公用車のEVへの更新や住民向けEV補助、災害時の活用で地域全体の脱炭素化とレジリエンスの強化を行っています。
- 「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」も採択され、今後はより一層の官民連携したレジリエンス強化と脱炭素の取組を進めていきます。